

ことばだより



令和8年1月13日
立川市立第七小学校
校長 島村 雄次郎
ことばの教室

3学期の通級が始まりました。寒い日が続いていますが、子ども達は元気に通級しています。冬休みの様子をきくことを楽しみにしています。

3学期の通級期間は短いですが、今年度のまとめをしながら、来年度に向けた準備もしていきます。

今年度末～新年度当初の予定

- ・3学期通級開始…1月13日(火)
 - ・お楽しみ交流活動 終…2月9日(月)
 - ・3学期通級終…3月9日(月)
 - ・振替指導・保護者面談期間…3月10日(火)～23日(月)
- ※振替指導や面談については、別途担当者からお声掛けします。

保護者の方へ

<令和8年度の通級曜日・時間について>

1月下旬に、次年度の通級日時希望調査をお配りします。期日までにご提出ください。

今年度内に通級時間・曜日を調整し、4月に担当者から正式に通級日を連絡いたします。＊次年度の担当は替わる場合があります。



在籍校の先生方へ

<令和8年度 個別の教育課程について>

来年度通級を継続する児童につきまして、教育課程[第1表(通)]の参考資料を2月19日付けでお送りします。

＊教育委員会に提出されましたら、各校の教育課程の写しを重要書類用封筒にて、七小校長宛てにお送りください。

おたのしみ交流活動をしています！

5、6年生が作成したクイズやゲームなどを、各通級日に児童たちが取り組む「お楽しみ交流活動」を11月17日から行っています。

全体で集まる活動ではありませんが、chromebookのクラスルームに取り組みの動画を載せたり、ゲームの担当児童がそれにコメントをしたりなど、ICTを活用した交流をしています。会ったことはなくても、お互いを意識してルールを作成したり、取り組みの報告をしたりなど、ゲームと交流の両方を楽しんでいます。期間は2月9日までです。掲示物もありますので、ぜひご覧ください。





読み書きについて



ことばの教室には、発音の誤り、吃音、言語発達に課題がある児童の他に、読んだり書いたりすることに苦手さがある児童も通ってきています。具体的には、抜粋ですが、以下のような児童です。

- ひらがな・カタカナが覚えられない
- 特殊音節（促音や拗音など）が抜けたり、誤ったりする
- 作文が書けない
- 文章を単語のまとまりで読めない
- 文字が乱雑だったり、形がとれなかったり
- 漢字を正しく覚えたり書いたりできない



読み書き困難の背景については、色々ありますが、以下、代表的なものと、それに対する手立てを紹介합니다。

音韻認識の弱さ ※主に「読み」に苦手さのある児童

◎音韻認識とは、ことばは1つ1つの音からできていることを理解し、ことばを音に分けたり、その音を並べ替えたりする力のことを言います。

下記は、音の気づきと操作の発達（定型発達）です。

5歳半ころ

- 2文字の逆唱ができる
⇒「りす」→「すり」
- 単語の中から文字を取り出す
⇒「うさぎ」の「う」

6歳半頃

- 3文字の逆唱ができる
⇒「うさぎ」→「ぎさう」

「音韻意識」を育てる具体的な手立て

リズムことば・・・清音（あいうえお等）では拍手、促音（小さい「つ」）ではグーにする。

→目には見えない音に手の形（視覚情報）や手の動き（固有受容覚）を加えることで、単語に含まれる音の構成を意識させる。



その他、読み書きの苦手さの背景には、ワーキングメモリの弱さ、音と文字の変換スピードの遅さ、眼球運動の弱さ、視空間認知の弱さ、視覚と運動の協応の弱さなどがあります。ことばの教室では、それぞれの児童の実態に合わせ、手立てを検討し、日ごろの指導に当たっています。

心配なことがありましたら、お気軽にご相談ください。

第七小学校 ことばの教室 042-527-3627

